

予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の運行実績について

- 1 集計期間
令和 5 年10月 1 日から令和 6 年 9 月30日まで 12か月間
- 2 運行日数（令和 6 年 3 月31日まで：土日・祝日は運休 / 令和 6 年 4 月 1 日から：日・祝日は運休）
268日（前年同時期 244日）
- 3 利用実績

区分	利用者数				運行便数				運行経費・運賃収入		
	交通不便エリア発	目的地エリア発	計	前年同期間	交通不便エリア発	目的地エリア発	計	前年同期間	運行経費	運賃収入	差額負担分
温泉場	337 人	249 人	586 人	472	280 便	191 便	471 便	393	828,960 円	212,900 円	616,060 円
オレンジライン	2,083 人	1,878 人	3,961 人	3,809	851 便	843 便	1,694 便	1,621	2,981,440 円	1,226,400 円	1,755,040 円
鍛冶屋	103 人	53 人	156 人	89	73 便	50 便	123 便	78	148,830 円	51,200 円	97,630 円
福浦	203 人	60 人	263 人	205	160 便	52 便	212 便	172	256,520 円	83,200 円	173,320 円
計	2,726 人	2,240 人	4,966 人	4,575	1,364 便	1,136 便	2,500 便	2,264	4,215,750 円	1,573,700 円	2,642,050 円
月平均	227 人	187 人	414 人	381	114 便	95 便	208 便	189	351,313 円	131,142 円	220,171 円
令和5年度同期間計	2,591 人	1,984 人	4,575 人		1,279 便	985 便	2,264 便		3,847,140 円	1,448,300 円	2,398,840 円
前年同期間比	135 人	256 人	391 人		85 便	151 便	236 便		368,610 円	125,400 円	243,210 円
令和4年度同期間計	2,099 人	1,848 人	3,947 人		1,155 便	972 便	2,127 便		3,643,420 円	1,269,300 円	2,374,120 円
前々年同期間比	627 人	392 人	1,019 人		209 便	164 便	373 便		572,330 円	304,400 円	267,930 円

合計(内数)	乗車運賃	利用者数	
障害者手帳等	300円	281 人	5.66 %
運転経歴証明書	300円	263 人	5.30 %
小学生以下	無料	1 人	0.02 %
重度障がい者等	福祉タクシー券	1 人	0.02 %

4 評価基準

- (1) 乗車密度（利用者数/運行便数）

（前年同期間）

温泉場	1.24 人	1.20人
オレンジライン	2.34 人	2.35人
鍛冶屋	1.27 人	1.14人
福浦	1.24 人	1.19人
全体	1.99 人	2.02人

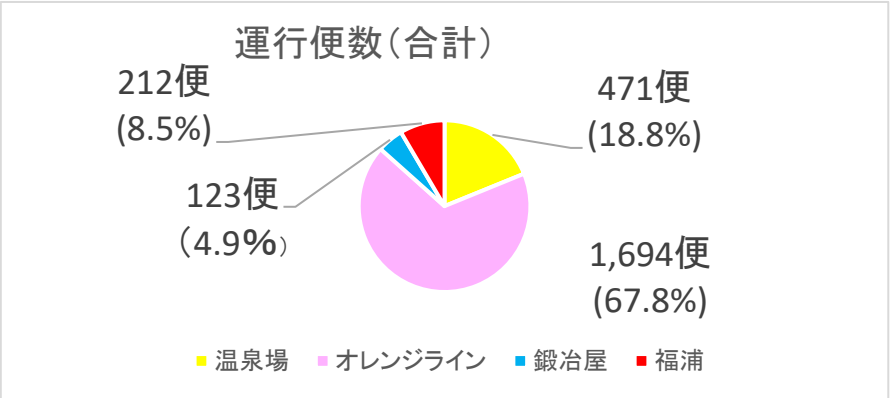
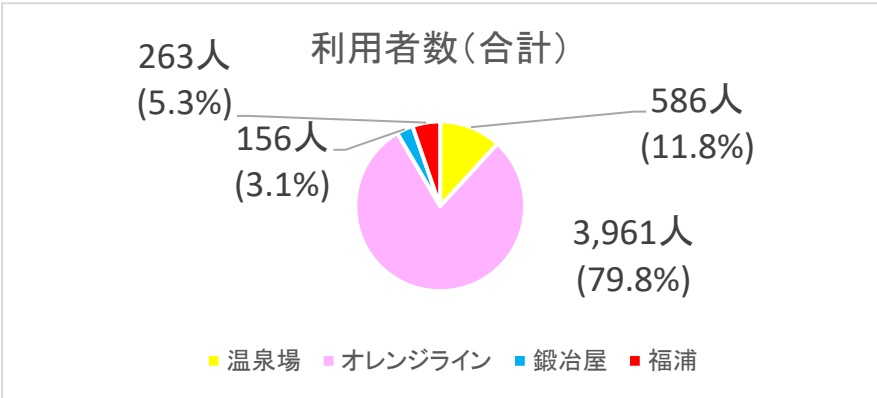
（数値目標:1.5人以上）

- (2) 稼働率（運行便数/（運行日数×一日の最大運行便数））

（前年同期間）

温泉場	22.0 %	20.1%
オレンジライン	79.0 %	83.0%
鍛冶屋	7.6 %	5.3%
福浦	13.2 %	11.7%
全体	33.3 %	33.1%

（数値目標:40%以上）



5 結果

・令和6年4月1日から土曜日運行が開始されたことも伴い、どのエリアにおいても、前年同時期と比べると、利用人数および運行便数が増加している。ゆたぼん号が外出手段の候補として定着していること、また、ゆたぼん号のニーズが高い結果であることが伺える。

・しかしながら、全体的に稼働率は増加しているにもかかわらず、乗車密度が減少していることから、「乗合い」での利用があまりされていない結果となった。

・土曜日の運行に着目すると、運行が開始されてから半年にもかかわらず一定の利用があるため、運行日を拡充した効果はあったものと考えられる。

6 今後

・路線バスなどの地域公共交通の状況を鑑みながら、引き続き、周知及びアンケートの実施により、利用促進やニーズの把握を図っていく。